

宮川の風 第79号

平成31年3月7日(木)発行

宮川小学校校長室からのたより

ひとつのミスが大きな事故につながる場合があります。だからミスは絶対に許されないものだと思います。しかし、中にはそんなに目くじら立てなくてもいいと思われるものもあると思います。以前だと、笑って済ませていたようなことが、最近では、部分を切り取られ、ネットで炎上なんてこともあるように思います。人間の中にある「相手のことを許す」という気持ちに変化が起きているとしたら、残念なことです。

そんなことを思いながらの通勤途中、ラジオからおもしろいニュースワードが流れてきました。「注文をまちがえる料理店」という言葉です。私は一瞬、「そりゃだめでしょ」と思ってしまいましたが、詳細を聞いて「これなら笑って許せるな」と思いました。

それは、厚生労働省の食堂で、認知症の人たちが接客をすることで、安心して暮らせる社会につながるという取組でした。ラーメンを注文したけどカレーライスが届くかもしれません。その時は、カレーもおいしそうだね、って思いたいものです。

裏面の記事をお読みください。

認知症と診断された人たちは、自分は普通に生活し、これまでと何も変わってはいないと感じていらっしゃるのかもしれませんが、もちろん、だからこそ危なかったり、気を付けなければならないこともたくさんあるのは仕方ありません。しかし、その人たちも社会の一員として、楽しく生活できるように、周囲の環境を改善していくことが求められます。

厚労省が始めた取組で、働くことで社会に役立つことを非常に大きな喜びとして感じる方々がきっと大勢いらっしゃると思います。

そのためには、周囲の人たちの「寛容な心」が必要なのです。時と場合によっては、ミスも笑い飛ばせる自分でありたいと思いますが・・・

この「宮川の風」は、次週をもって最終回とさせていただきます。いよいよ最終回となると、私としては何かしら寂しい思いがしてきます。これをとおして、保護者の方々と話ができ、情報の交換ができれば最高だという思いをもちながらも、結局は、一方通行になってしまったことは、自分としての反省点でした。毎週読んでくださった皆さまには、心から感謝しています。また、職員によっては、毎週子どもたちにも読ませて感想を話したりしてくれました。

何かの役にたてたとしたら幸いです。最終号となる第80号もいつもどおりに気負わずに作って終わりにしようと思います。

明日は、お別れ遠足です。天気は晴れの予報です。6年生とのお別れ、また、同じクラスで過ごした友だちとのお別れを惜しみながら、楽しい時間を過ごしてほしいと思います。花粉情報は「非常に多い」です。花粉症の人は、対策をお願いします。

ある日のできごとから

卒業式の練習で6年生が素晴らしい態度を見せてくれています。大きな声での呼びかけや思いがこもった歌声、さらに、身動きひとつしない姿勢、感謝の気持ちが伝わってくる礼の仕方、一つ一つに「気迫」がこもっています。練習ではありますが、体育館の空気がぴーンと張り詰めた感じがします。

卒業生の緊張感に触れながら、襟を正して頑張っているのは5年生です。在校生の代表として唯一出席できる子どもたちです。1年生から4年生までの気持ちも背負って式に臨みます。厳粛な空気を乱さないように、卒業生の大切な一日を思い出深い日にするように、姿勢や呼びかけ、歌などに頑張っています。

本番は練習よりもずっと長い時間になります。練習で忍耐力を養っておかないといけません。来週14日(木)に予行を行い、22日(金)が卒業式となります。

(文責：鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)